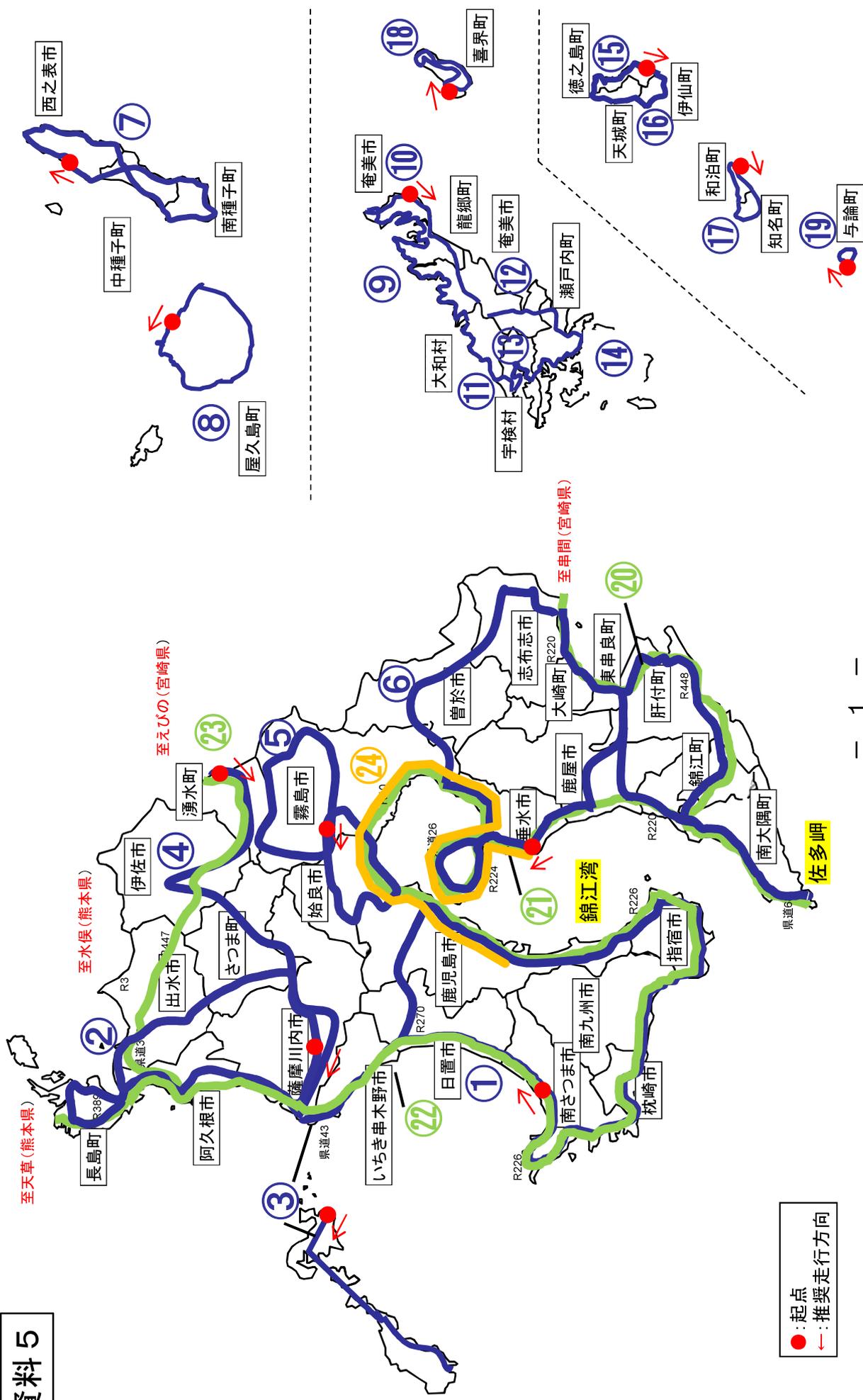


自転車通行空間整備

資料5



自転車通行空間整備

No.	名称	設定日	地域区分	起点	終点	経路	距離	通行距離
1	1. 鹿島ルート	令和4年2月	北薩	サイロ・パンダターミナル 川内川 (サイロターミナル)	サンパングターミナル 川内川 (サンパングターミナル)	鹿島市、鹿島市、 川内川、川内川	約 22.0 km	約4,203m
2	2. 北薩ルート	令和4年2月	北薩	川内川	川内川	川内川、出水市、 志布志市、高島町	約 183.5 km	約3,951 m
3	3. 奄美ルート	令和4年2月	北薩	川内川	川内川	鹿島市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 100.8 km	約9,600m
4	4. 川内川・川内川ルート	令和5年2月	北薩	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 105.6 km	約1,113m
5	5. 薩摩・指宿ルート	令和5年2月	北薩	川内川	川内川	薩摩市、指宿市	約 145.6 km	約2,695m
6	6. 大隅ルート	令和5年2月	大隅	川内川	川内川	薩摩市、志布志市、 志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 369.2 km	約7,963m
7	7. 種子島ルート	令和4年2月	種子	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 160.6 km	約2,654m
8	8. 鹿児島ルート	令和4年2月	鹿児島	川内川	川内川	志布志市、志布志市	約 97.7 km	約2,171m
9	9. 奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 72.3 km	約1,015m
10	10. 奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 44.0 km	約414m
11	11. 奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 49.3 km	約1,445m
12	12. 奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 45.3 km	約3,371m

No.	名称	設定日	地域区分	起点	終点	経路	距離	通行距離	
13	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 24.8 km	約328m	
14	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 39.1 km	約961m	
15	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 40.9 km	約982m	
16	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 40.7 km	約1,151m	
17	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 56.9 km	約415m	
18	奄美・奄美コース	令和5年2月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市	約 18.6 km	約125m	
19	奄美・奄美コース	令和5年2月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市	約 22.3 km	約223m	
20	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 135.4 km	約2,411m	
21	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 243.7 km	約2,068m	
22	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 274.3 km	約3,280m	
23	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 197.8 km	約2,068m	
24	奄美・奄美コース	令和4年5月	奄美	川内川	川内川	志布志市、志布志市、 志布志市、志布志市	約 114.6 km	約1,616m	
								合計	約 2,799.3 km

自転車通行空間整備 【矢羽根等の路面標示】

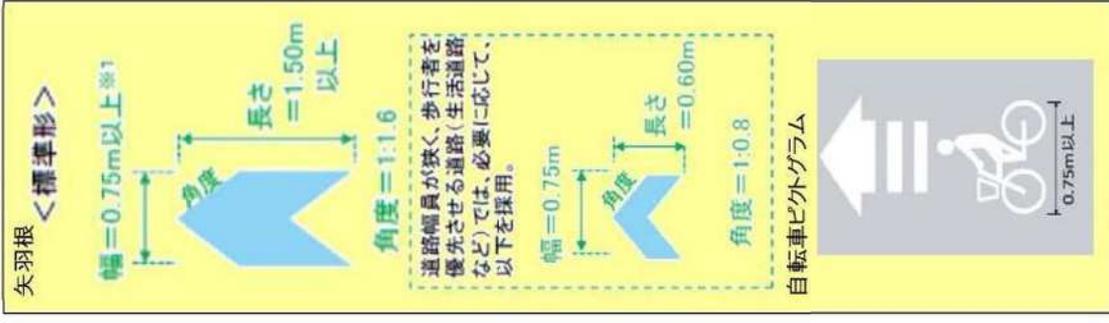
鹿児島県サイクルモデルルートにおける自転車走行空間整備（路面表示）ガイドライン

【R5. 5. 24 協議会承認】

1 矢羽根 【参考】 マンセル値 5PB 4/10

区分	鹿児島県	考え方（根拠）	ガイドライン ^{※1}	福岡県	宮崎県
進行方向	単路部	全国事例によりガイドライン以上の間隔とし、ナシヨナルサイクルルートの基準に準拠する。	10m間隔	500m毎に10m間隔で2箇所	60～120m間隔（上下千鳥）
	交差点部（直進）	左折する自動車に対する注意喚起を目的として、単路部より密にする。福岡県基準を参照。	【導入部】停止線50m手前より10m間隔【交差点内】表示なし	【導入部】停止線50m手前より10m間隔【交差点内】表示なし	【導入部】停止線20m間隔【交差点内】10m間隔
	交差点部（右左折）	自動車に対する注意喚起を目的として、単路部より密にする。福岡県基準を参照。	【導入部】停止線50m手前より10m間隔【交差点内】表示なし	【導入部】停止線50m手前より10m間隔【交差点内】表示なし	停止線50m手前より10m間隔
	カーブ区間	見通しの悪い区間は、自転車と自動車の危険発生性が高いため、単路部より密にする。福岡県基準を参照	10m間隔	10m間隔	40m間隔
横断方向	カーブ区間（見通しの良い緩やかなカーブ）	見通しの良いカーブ区間は、単路部と同等とする。	100m毎に10m間隔で2箇所	—	—
	歩道あり	ガイドライン ^{※1} 参照	路肩内に設置	路肩内に設置	原則外側線の内側
	路肩に十分な幅員あり	ガイドライン ^{※1} 参照	原則車道内 外側線の下に重複可	原則車道内 外側線の下に重複可	原則外側線の内側
	歩道なし	ガイドライン ^{※1} 参照	車道内に設置	車道内に設置	原則外側線の内側
	路肩に十分な幅員なし	ガイドライン ^{※1} 参考 ただし、矢羽根のサイズを縮小したもので検討する。	失羽根の右端が外側線から車道内に1m以上の位置	設置しない	原則外側線の内側

※1 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（平成28年7月 国土交通省道路局、警察庁交通局）



2 自転車ピクトグラム

区分	鹿児島県
単路部	500m間隔を基本とする
交差点部	停止線50m手前 矢羽根の直前に1箇所

自転車通行空間整備

【案内標識】

◆案内標識のパターンと仕様

○デザイン

かごしまロマン街道の仕様と揃えることで、統一感を持たせる。

○寸法

全国の事例や表示内容の情報量を踏まえ、板面の大きさは「150mm×500mm」を基本とする。

※フォントについては原則UDフォントとする。

※標識中がある場合は、シート貼付とすることも検討。

◆単路部に設置する案内標識の設置位置

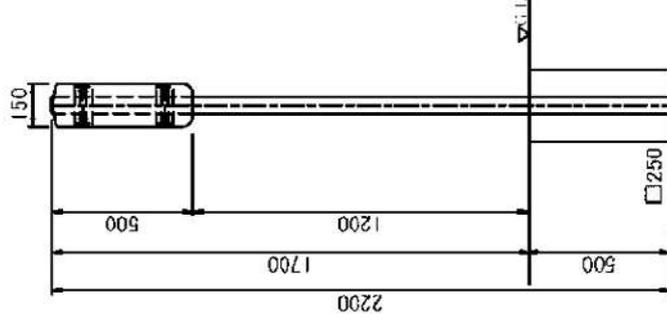
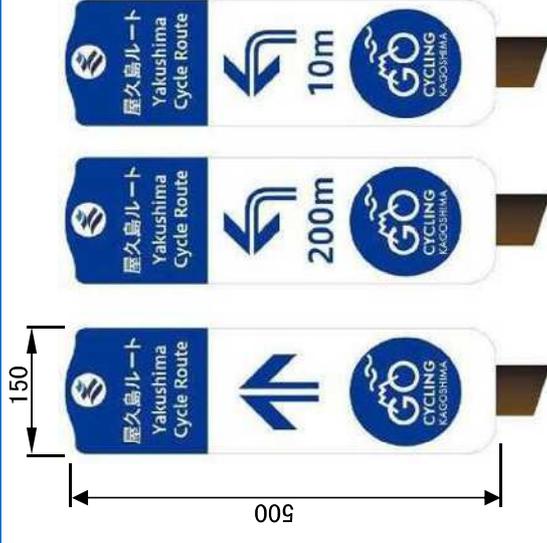
・ナショナルサイクルルートの指定要件に準拠し、概ね5kmを基本として設置。

なお、既設の案内標識を活用する場合にはこの限りではなく、道路管理者の判断に応じた柔軟な変更を可能とする。

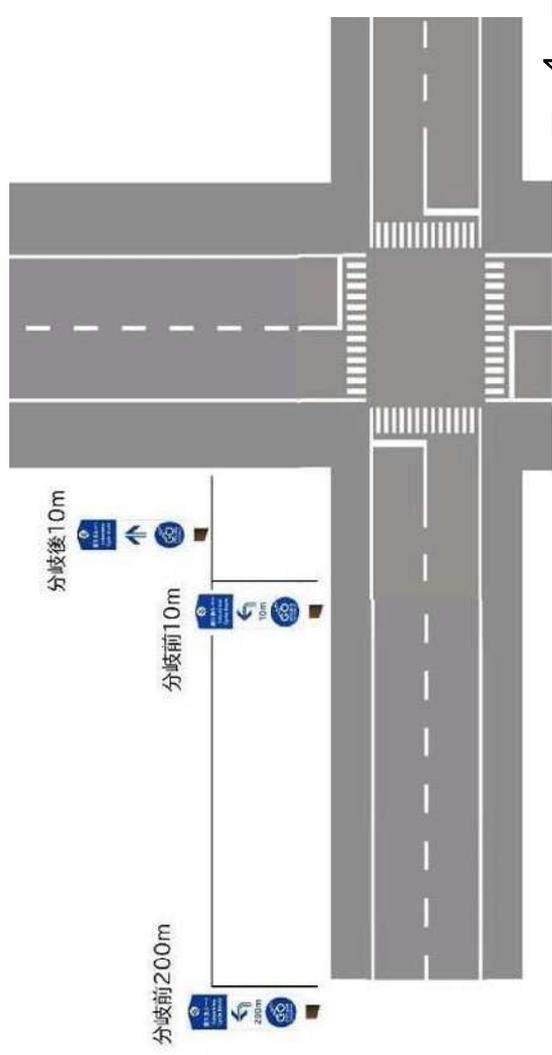
◆分岐部に設置する案内標識の設置位置

・全国事例（滋賀県、太平洋沿岸自転車道等）に準拠し、「予告：分岐前200m」、
「予告：分岐前10m」を基本として設置。

なお、既設の案内標識を活用する場合にはこの限りではなく、道路管理者の判断に応じた柔軟な変更を可能とする。



◆案内標識の設置高さ
歩道の建築限界に留意し、
道路管理者の判断に応じた
柔軟な変更を可能とする。



自転車通行空間整備

【県管理延長】

地帯区分	事務所名	路線名	路線数	市町村名	全体計画 (km)
内地	鹿児島	(一) 都元鹿児島港 ほか9路線	8	鹿児島市, 日置市, いちき串木野市	71.2
	南薩	(国) 226号 ほか3路線	3	南さつま市, 指宿市, 南九州市, 枕崎市	124.2
	北薩	(主) 川内串木野線 ほか21路線	20	薩摩川内市, 阿久根市, さつま町, 長島町, 出水市	108.2
	始良伊佐	(国) 223号 ほか25路線	22	霧島市, 始良市, 伊佐市, 湧水町	151.9
	大隅	(国) 269号 ほか15路線	16	鹿屋市, 志布志市, 垂水市, 曾根市, 大崎町, 南大隅町, 肝付町, 錦江町	164.4
離島	鯉島	(一) 手打屋牟田港線 ほか4路線	5	薩摩川内市	48.7
	龍毛	(国) 58号 ほか5路線	5	西之表市, 中種子町, 南種子町	142.0
	鹿久島	(主) 上屋久屋久線 ほか1路線	2	鹿久島町	93.4

地帯区分	事務所名	路線名	路線数	市町村名	全体計画 (km)
奄美	大島	(国) 58号 ほか6路線	6	奄美市, 大和村, 龍郷町	157.5
	瀬戸内	(主) 名瀬瀬戸内線 ほか2路線	2	瀬戸内町, 宇検村	66.3
	喜界	(一) 喜界島循環線 ほか1路線	2	喜界町	22.7
	徳之島	(主) 伊仙島津徳之島空港線 ほか2路線	3	徳之島町, 天城町, 伊仙町	53.3
	沖永良部	(主) 知名沖永良部空港線 ほか3路線	4	和泊町, 知名町, 与論町	12.2
			※ 17		1,296.0

※ 路線数は重複考慮。
(例) 国道58号は龍毛支庁・大島支庁・瀬戸内事務所とあるが、1番長い大島支庁でカウント

自転車通行空間整備

【県管理道路整備方針】

◎整備内容

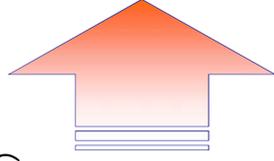
- 鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会において、サイクルモデルルートを承認
 - 県サイクルモデルルート：24ルート 2,789km
- 県管理道路の矢羽根等の路面標示による自転車通行空間の整備
 - 県管理道路：24ルート 約1,296km(道路延長)

◎現状

- 令和4年度までに、市街地部を中心に約119kmを整備
- 令和5年度から交付金事業(国重点事業)により本格整備に着手

◎自転車通行空間整備の課題及び対応方針(案)

- 道路幅による自転車専用道路等の整備は困難
 - 車道混在で整備(矢羽等の路面標示)
- 自転車通行空間整備の早期完成(完成まで約20年必要)
 - 暫定整備(片側先行・設置間隔見直し)による早期事業効果発現
- 九州・山口ルート(ナショナルサイクルルート指定検討中)
 - 県ガイドラインで整備(ナショナルサイクル同基準)
- 地域バランスの考慮(内地・離島・奄美)
 - 均衡な予算の確保
- 他管理者との整備調整
 - 地域部会で要協議
- 維持管理費の確保
 - 追加設置状況を考慮し検討



整備シミュレーション(案) (完成形の整備, 暫定形の整備, 暫定整備後完成形に向けた整備, 補修)

種類	整備内容	整備期間(年)	設置間隔(m)	方向	年次計画・年予算(億円)																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	整備パターン				R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24
	① 県ガイドライン	20	100																						
	② 設置間隔@200	14	200	両方向																					
	③ 設置間隔@400	10	400																						
交付金	④ 1方向先行設置	10	100																						
	⑤ ②+④	7	200	1方向																					
	⑥ ③+④	5	400																						
原単	補修(設置後8年目以降)																								



矢羽根等設置状況



◎整備方針(案)

- 1方向を先行して整備(モデルルート推奨走行方向)
- 矢羽根の設置間隔を100mから400mで整備
 - ※九州・山口広域推奨ルートは、今後の設定状況を踏まえ整備予定
 - 5年間でサイクルモデルルートを概成(暫定)し、早期効果発現を図る

世界遺産の奄美で自転車の旅を楽しもう！

ー奄美の船旅で「弱虫ペダル LIMIT BREAK」コラボキャンペーンを8月から開催ー

鹿児島県旅客船協会（会長：有村和晃・マルエーフェリー株式会社 社長）は、奄美の島々を結ぶフェリーの利用促進を図り、世界自然遺産の「奄美大島・徳之島」を含む奄美群島の船旅を楽しんでもらうために、フェリーを利用しながら各島の観光地をめぐる『弱虫ペダルLIMIT BREAK×奄美の船旅～奄美の島々をめぐる自転車の旅～』を、2024年8月9日（金）より開催します。



©渡辺航（週刊少年チャンピオン）／弱虫ペダル 05 製作委員会

【「弱虫ペダル LIMIT BREAK」×奄美の船旅 コラボキャンペーンについて】

世界自然遺産の「奄美大島・徳之島」を含む奄美群島を結ぶフェリーでの船旅のPR及び利用促進を目的に、「弱虫ペダル」とのコラボキャンペーンを、夏休みの旅行シーズンから秋口までの約3カ月の間で奄美周遊の船旅をお楽しみいただけます。

■キャンペーン実施期間：2024年8月9日（金）～11月10日（日）〈3カ月間開催〉

Promotion **船内クイズイベント**

期間中、奄美航路の6隻のフェリー船内で楽しめる船内クイズラリー開催！

対象船舶

※クイズラリーは各船舶1種類の計6種類。

- ・クイーンコーラルクロス
- ・クイーンコーラルプラス
- ・フェリー波之上
- ・フェリーあけぼの
- ・フェリーきかい
- ・フェリーあまみ

正解者特典 **コラボ限定デザインステッカー**

※限定数量のステッカー配布終了後はポストカードとなります。
※画像はイメージです。実際のデザインは変更となる場合がございます。

全14種

◎ 期間中のフェリー乗船者向け船内クイズラリーを開催

奄美航路のフェリー6隻で開催する船内クイズラリーに参加費無料でご参加いただけます。正解された方には数量限定で「弱虫ペダル・コラボ限定デザインのステッカー」を船内でプレゼントします。

Promotion **デジタルスタンプラリー**

〈フェリー+奄美群島〉スタンプラリー参加で

豪華景品が当たる！

1等客室ペア往復乗船券

総勢 **100名様**

※画像はイメージです。実際のデザインは変更となる場合がございます。

◎「弱虫ペダルLIMIT BREAK」×奄美の船旅 デジタルスタンプラリーを同時開催

マリックスライン(株)及びマルエーフェリー(株)、奄美海運(株)が運航するフェリー6隻の船内と、鹿児島と奄美の港および奄美群島の観光拠点など全35カ所に設置されたスタンプポイントを周遊して、「1等客室ベア往復乗船券」や弱虫ペダルコラボ限定デザインのオリジナルグッズ、奄美育ちの黒毛和牛や奄美の特産品などが当たるデジタルスタンプラリーを開催します。期間中に鹿児島新港ならびに鹿児島本港より、自転車・バイク等を特殊手荷物としてご利用される方に限定の特典として、コラボ限定デザイン・クリアファイルの配布を行います。

【「弱虫ペダルLIMIT BREAK」×奄美の船旅 デジタルスタンプラリーの景品について】

乗船券や特産品、弱虫ペダルコラボ限定デザインの各種オリジナルグッズを総勢100名様にプレゼントします！

- ・折り畳み式自転車+小野田坂道役・声優の山下大輝氏直筆サイン色紙+コラボ限定デザイングッズ全セット…1名
 - 他、弱虫ペダルコラボ限定デザインのステンレスボトルやTシャツ、マフラータオル、奄美特産品セットなど
- ※景品の内容や数量は一部変更となる場合があります。

Promotion

小野田坂道 (cv.山下大輝さん) による特別な船内放送



小野田坂道くんアナウンス！
スペシャル船内放送

船内では小野田坂道 (cv.山下大輝さん) による特別な船内放送を行います。



◎小野田坂道 (cv. 山下大輝さん) によるオリジナル船内放送

期間中、「弱虫ペダル」小野田坂道 (cv. 山下大輝さん) による特別な船内放送を聴くことができます。

Promotion

ARフォト&コラボ特設ブース撮影スポット

ARフォトでキャラクターと記念撮影！

キャラクターズフォトパネル

各島のARフォトスポットでフォトフレームをGET！

デジタルスタンプラリーとの連動企画になります。

開催場所 特設ブース

鹿児島新港
フェリーターミナル(3F)

「弱虫ペダル」と奄美航路の特別デザインブースを設置。巨大撮影ボードで、推しのキャラクターたちと一緒に、記念写真を撮影することができます。

写真はイメージです。



◎「弱虫ペダルLIMIT BREAK」×奄美の船旅 コラボキャンペーン特設ブース

「弱虫ペダル」の人気キャラクターと撮影できるフォトスポットとして、鹿児島新港ターミナルビル3階に「弱虫ペダルLIMIT BREAK × 奄美の船旅」コラボキャンペーン特設ブースを設置します。

◎ キャラクターパネル・ARフォト…奄美航路のフェリー船内および奄美群島の港・施設などに設置

「弱虫ペダル」人気キャラクターの撮影パネルが、期間中に奄美航路のフェリー6隻の船内および奄美群島の港などに設置され、好きなキャラクターと一緒に撮影することができます。また、専用アプリを用いて好きなキャラクターと一緒にARフォト撮影を現地で楽しむことができます。撮影した写真は「#弱ペダ_奄美」という共通ハッシュタグでSNSに投稿することで参加者同士が写真や情報を共有できる仕組みとします。

《「弱虫ペダルLIMIT BREAK × 奄美の船旅」コラボキャンペーンサイト URL》

<https://yowapeda-amami.com/>

《奄美航路 WEB サイト URL》

<https://amami-shiptrip.jp/>

【鹿児島県旅客船協会よりコメント】

世界自然遺産の奄美大島、徳之島を含む奄美群島の船旅へ多くの方へ出かけてほしい。人気アニメ「弱虫ペダル」とのコラボキャンペーンにより船旅や各島の観光を楽しみながら、世界自然遺産の島々などを結ぶ奄美航路の魅力をもっと多くの方々に知ってもらえる機会としたい。

【主催】鹿児島県旅客船協会／奄美群島航空・航路運賃軽減協議会

【協力】マリックスライン株式会社／マルエーフェリー株式会社／奄美海運株式会社／鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会

URL: <https://amami-shiptrip.jp/> (奄美群島の船旅・ポータルサイト)

URL: https://www.instagram.com/amami_shiptrip/ (奄美群島の船旅・Instagram)

URL: https://x.com/amami_shiptrip (奄美群島の船旅・X:旧ツイッター)

鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会規約

(名称)

第1条 本会は、鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本協議会は、県内市町村及び関係団体等が連携・協力し、本県の自然・景観など豊かな地域資源を活かしたサイクルモデルルートを設定し、国内外へ地域の魅力を発信することにより、県内全域への自転車による周遊観光を推進し、交流人口の拡大を推進することを目的とする。

(内容)

第3条 前項の目的を達成するため、次に掲げる事項に関し、協議・検討する。

- (1) 鹿児島県におけるサイクルモデルルートの設定
- (2) サイクルツーリズムに係る情報発信
- (3) サイクルツーリズムに係る受入環境
- (4) その他サイクルツーリズム推進に係る事項

(組織)

第4条 協議会は、自転車及び観光に関わる関係機関をもって組織する。(別表1)

(任意入退会)

第5条 協議会は、任意に入退会することができる。

(座長)

第6条 協議会に座長を置き、会員の互選によりこれを定める。

2 座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、座長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。

(部会)

第7条 協議会は、地域ごとに部会を設け、検討を行うことができる。

(事務局)

第8条 本会の事務を処理するために事務局を置く。協議会の事務局は鹿児島県観光・文化スポーツ部PR観光課内に置く。

(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が定める。

附 則

この規約は、令和3年7月8日から施行する。

令和4年4月1日 一部改正

別表 1 (第 4 条関係)

96 団体 (令和 5 年 6 月 7 日時点)

市町村	鹿児島市
	鹿屋市
	枕崎市
	阿久根市
	出水市
	指宿市
	西之表市
	垂水市
	薩摩川内市
	日置市
	曾於市
	霧島市
	いちき串木野市
	南さつま市
	志布志市
	奄美市
	南九州市
	伊佐市
	姶良市
	さつま町
	長島町
	湧水町
	大崎町
	東串良町
	錦江町
	南大隅町
	肝付町
	中種子町
	南種子町
	屋久島町
	大和村
	宇検村
	瀬戸内町
龍郷町	
喜界町	
徳之島町	
天城町	

市町村	伊仙町
	和泊町
	知名町
	与論町
国土交通省 九州地方整備局	鹿児島国道事務所
	大隅河川国道事務所
	川内川河川事務所
観光関連団体	公益社団法人 鹿児島県観光連盟
	公益財団法人 鹿児島観光コンベンション協会
	枕崎市観光協会
	株式会社まちの灯台阿久根
	一般社団法人 出水市観光特産品協会
	公益社団法人 指宿市観光協会
	一般社団法人 日置市観光協会
	一般社団法人 曾於市観光協会
	公益社団法人 霧島市観光協会
	いちき串木野市観光特産品協会
	一般社団法人 南さつま市観光協会
	一般社団法人 奄美群島観光物産協会
	一般社団法人 志布志市観光特産品協会
	南九州市観光協会
	一般社団法人 始良市観光協会
	一般社団法人 さつま町観光特産品協会
	一般社団法人 南大隅町観光協会
	肝付町観光協会
	屋久島観光協会
	喜界島観光物産協会
	一般社団法人 徳之島観光連盟
	一般社団法人 おきのえらぶ島観光協会
	株式会社薩摩川内市観光物産協会
	株式会社おおすみ観光未来会議
一般社団法人 あまみ大島観光物産連盟	
一般社団法人 いぶすき観光デザイン	
サイクル関係者	鹿児島県自転車競技連盟
	鹿児島県サイクリング協会
交通関係者	九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社
	肥薩おれんじ鉄道株式会社
	鹿児島県旅客船協会

交通関係者	日本エアコンピューター株式会社
	鹿児島空港ビルディング株式会社
	一般社団法人 鹿児島県タクシー協会
	公益社団法人 鹿児島県バス協会
その他関係団体	社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会
	一般社団法人 鹿児島県視覚障害者団体連合会
	一般社団法人 鹿児島県聴覚障害者協会
鹿児島県警察本部	交通部交通規制課
鹿児島県	観光・文化スポーツ部PR観光課
	観光・文化スポーツ部スポーツ振興課
	総務部男女共同参画局くらし共生協働課
	総合政策部交通政策課
	土木部道路維持課
	鹿児島地域振興局
	南薩地域振興局
	北薩地域振興局
	始良・伊佐地域振興局
	大隅地域振興局
	熊毛支庁
	熊毛支庁 屋久島事務所
	大島支庁

No.	組織名 (順不同)	所属先	役職名	氏名 (敬称略)	備考
1	鹿児島市	スポーツ課交流係	主事	小土橋 李南	オンライン参加
2	鹿屋市	ふるさとPR課	主任主事	福元 知菜	オンライン参加
3	鹿屋市	建設部 道路建設課	維持管理係長	篠原 重十喜	オンライン参加
4	枕崎市	水産商工課観光交流係	主事	守崎 伶	オンライン参加
5	出水市	商工観光部 観光交流課	主事	正木 しほり	オンライン参加
6	指宿市	観光課	主査	前川 貴志	オンライン参加
7	西之表市	経済観光課	主査	川村 勇矢	オンライン参加
8	日置市	総務企画部商工観光課	主事補	小坂元 咲瑠	オンライン参加
9	曽於市	商工観光課	主任	四俣 勇人	オンライン参加
10	曽於市	土木課	課長補佐	入来 満	オンライン参加
11	霧島市	商工観光部観光PR課	主査	今吉 健悟	オンライン参加
12	南さつま市	観光交流課	主事	服部 勇輝	オンライン参加
13	南九州市	商工観光課	主事	竹迫 朋美	オンライン参加
14	始良市	商工観光課	観光係長	中西 誠二	オンライン参加
15	始良市	商工観光課	観光係 主査	緒方 陽介	オンライン参加
16	大崎町	商工観光課	主事	坪内 幸之介	オンライン参加
17	南大隅町	企画観光課	主事	大倉野 史晃	オンライン参加
18	肝付町	林務水産商工課 商工観光係	係長	中原 友裕	オンライン参加
19	中種子町	企画課	商工観光係長	西園 朝美	オンライン参加
20	屋久島町	観光まちづくり課	観光推進係主査	笹川 優太	オンライン参加
21	宇検村	企画観光課	係長	竹下 世利人	オンライン参加
22	喜界町	企画観光課	主事	登 聖佳	オンライン参加
23	和泊町	土木課	課長補佐	平山 烈士	オンライン参加
24	鹿児島県国道事務所	交通対策課	交通対策係長	松元 慶喜	会場にて参加
25	大隅河川国道事務所	道路管理課	総括地域防災調整官	大宅 康平	会場にて参加
26	大隅河川国道事務所	道路管理課	専門職	長友 幸一	会場にて参加
27	川内川河川事務所	流域治水課	専門官	只隈 章浩	オンライン参加
28	公益社団法人 鹿児島県観光連盟	国内誘致部	国内誘致部長	崎山 恭子	会場にて参加
29	一般社団法人 出水市観光特産品協会		一般	茂 ひとみ	オンライン参加
30	公益社団法人 指宿市観光協会	総務部	アシスタントプランナー	下拂 岳人	オンライン参加
31	一般社団法人 曽於市観光協会	観光部門	観光担当	伊江 朝士	オンライン参加
32	一般社団法人 南さつま市観光協会	観光	マネージャー	柳下	会場にて参加
33	一般社団法人 南さつま市観光協会	観光	事務局	田代	会場にて参加
34	一般社団法人 奄美群島観光物産協会	観光部	観光部リーダー	柴野 知美	オンライン参加
35	南九州市観光協会	観光部	職員	丸山 広大	オンライン参加
36	一般社団法人 始良市観光協会	事務局	事務局長	渡辺 秀文	オンライン参加
37	肝付町観光協会	事務局	事務局長	加治木 智子	オンライン参加
38	屋久島観光協会	事務局	事務局長	西川 泰伸	オンライン参加
39	喜界島観光物産協会	事務局	事務局長	田邊 大智	オンライン参加
40	株式会社おおすみ観光未来会議	事業部	チーフディレクター兼総務課長	小竹 真吾	オンライン参加
41	一般社団法人 いぶき観光デザイン	管理	COO	亀甲 寛栄	会場にて参加
42	九州旅客鉄道株式会社鹿児島支社	営業運輸課		久山 一希	オンライン参加
43	肥薩おれんじ鉄道株式会社	営業戦略室	係員	武 あかね	オンライン参加
44	肥薩おれんじ鉄道株式会社	営業戦略室	係員	東 美穂	オンライン参加
45	鹿児島空港ビルディング株式会社	事業広報部	主任	山口 千尋	オンライン参加
46	一般社団法人 鹿児島県聴覚障害者団体連合会	事務局	事務局職員	叶 亜寿香	オンライン参加
47	一般社団法人 鹿児島県聴覚障害者協会	副会長兼事務局	副会長兼事務局	寿福 三男	会場にて参加
48	鹿児島県警察本部	交通部交通規制課	係長	丸山 泰啓	会場にて参加
49	鹿児島県警察本部			ほか随行1名	会場にて参加
50	鹿児島県	観光・文化スポーツ部スポーツ振興課	主事	瀬戸口 馨介	オンライン参加
51	鹿児島県	総務部男女共同参画局くらし共生協働課	主幹	今村 由紀子	会場にて参加
52	鹿児島県	土木部道路維持課	技術専門員	福永 秋一	会場にて参加
53	鹿児島県	鹿児島地域振興局	主事	中條 ひな乃	オンライン参加
54	鹿児島県	南薩地域振興局	主事	川崎 美紅	オンライン参加
55	鹿児島県	北薩地域振興局 総務企画部総務企画課	主査	米盛 洋子	オンライン参加
56	鹿児島県	始良・伊佐地域振興局	主事	國料 由紀奈	オンライン参加
57	鹿児島県	大隅地域振興局 総務企画部総務企画課地域振興係	主事	三月田 千夏	オンライン参加
58	鹿児島県	熊毛支庁 総務企画課地域振興係	主事	東馬場 奈菜	オンライン参加
59	鹿児島県	熊毛支庁 屋久島事務所 総務企画課	主事	木村 尚香	オンライン参加
60	鹿児島県	大島支庁 総務企画課商工観光係	主幹兼商工観光係長	納山 尚樹	オンライン参加
61	鹿児島県	大島支庁 総務企画課商工観光係	主査	今村 菜月	オンライン参加
62	CCCチャリン・コ・クリエーション株式会社		代表取締役	黒川 剛	会場にて参加
63	合同会社トピカンパニー		共同代表	小口 良平	オンライン参加
64	公益社団法人 福岡県観光連盟		事業推進特任部長	古賀 晴美	会場にて参加
65	株式会社Bike is Life		代表取締役	山田 大五朗	会場にて参加
66	鹿児島県 (事務局)	観光・文化スポーツ部PR観光課	課長	鶴田 晃紀	会場にて参加
67	鹿児島県 (事務局)	観光・文化スポーツ部PR観光課	主幹	東 奈々絵	会場にて参加
68	鹿児島県 (事務局)	観光・文化スポーツ部PR観光課	主査	小谷 祐一郎	会場にて参加
69	JTB鹿児島支店 (受託業者)		営業担当部長	井上 博道	会場にて参加
70	JTB鹿児島支店 (受託業者)		営業課長	洲上 亜希子	会場にて参加

会場にて参加 20名
オンライン参加 50名

<鹿児島県PR観光課>令和6年度第1回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会 議事録

実施日時	令和6年7月25日(木) 14:00~16:00	実施場所	ホテル自治会館505号室 Teams オンライン配信 併用形式
[議事] 1. 報告事項			
①県協議会の取り組みについて 【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東 主幹】 【説明者：株式会社JTB 鹿児島支店 井上 営業担当部長】			
②九州山口サイクルツーリズム推進委員会・サイクリングアイランド九州の取り組みについて 【説明者：鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東 主幹】			
③大島地域部会の取り組みについて 【説明者：鹿児島県 大島支庁 総務企画課 商工観光係 納山 主幹】			
④錦江湾奥会議の取り組みについて 【説明者：始良市 商工観光課 緒方 主査】			
⑤自転車走行空間整備状況について 【説明者：鹿児島県 土木部 道路維持課 福永 技術専門員】			
2. 有識者より 【合同会社トビチカンパニー 小口 良平 氏】			
3. 講演 福岡県のサイクルツーリズムの取り組みについて 【講師①：公益社団法人福岡県観光連盟 事業推進特任部長 古賀 晴美 氏】 【講師②：株式会社 Bike is Life 代表取締役 山田 大五朗 氏】			
[配布資料] 資料1) 県サイクルツーリズム推進協議会の取組 資料2) 九州山口サイクルツーリズム推進委員会・サイクリングアイランド九州の取組 資料3) 大島地域部会の取組 資料4) 錦江湾奥会議の取組 資料5) 自転車通行空間整備の状況・計画 別紙1) 鹿児島県旅客船協会プレスリリース資料 別紙2) 鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会規約 別紙3) 全体会参加リスト 講演資料1) 福岡県のサイクルツーリズムの取り組みについて① 講演資料2) 福岡県のサイクルツーリズムの取り組みについて②			

[議事録] ※概要趣旨

・開会の辞

鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 鶴田 課長

サイクルツーリズムの取り組みについては、本協議会が令和3年度に立ち上がり、令和5年度までの3年間で、サイクリスト向けのモデルルートを県内で24ルート設定し、ホームページやモニターツアー等による情報発信を行った。

令和5年度からは、サイクルステーションや宿泊施設におけるサイクルスタンドや自転車専用整備等の助成制度を設定すると共に、サイクルナビゲーター養成講座等のサイクリストの受入環境整備に取り組んできた。

これからはこれまで設計して県内モデルを周知することで誘客につなげ、県内消費額を増やして、観光の稼ぐ力の向上に取り組むこととしている。

・令和5年度までの県サイクルツーリズム推進協議会の取組について

鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東 主幹

鹿児島県では、令和3年度から県内市町村や関係団体等と連携して、地域の魅力を発掘することにより、県内全域への自転車による周遊観光を推進し、交流人口拡大を推進することを目的として、サイクルツーリズム推進協議会及び地域部会を設置している。

これまでの主な取り組みとして、令和3年度に県サイクルツーリズムをPRするロゴマークを決定し、推進している。

令和4年度は九州・山口広域推奨ルートや奄美大島等19ルートを皮切りに現在合計24ルートを県内にモデルルートとして設定した。

サイクリストの受入環境整備については、サイクルスタンド等の整備に関する事業を実施する事業者等に対し、補助金を交付すると共に、必須要件を満たしている施設については、鹿児島サイクルステーションやサイクリストに優しい宿として認定しており、令和6年6月末現在で22施設を認定している。今後はこの認定数をさらに増加させていく取り組みが必要だと考えている。

また、昨年度はサイクリストに安心安全なサイクリングを楽しんでもらうために必要なガイド知識等を習得してもらうためのサイクルナビゲーターの養成講座を開催した。

効果的な情報発信としては、県観光連盟のホームページ内に特集ページを開設し、各モデルルートや周辺の立ち寄りスポットなど情報発信している。

令和4・5年度においては、インフルエンサー等によるモニターツアーを実施してSNS等による県内モデルルートの情報発信を行った。

今後もさらなる効果的な情報発信に努めて、本県への誘客につなげていく取り組みが必要だと考えている。

・令和6年度の県サイクルツーリズム推進協議会の事業計画について

株式会社JTB鹿児島支店 井上 営業担当部長

誘客を重視してインバウンドをターゲットとした台湾・韓国向けのFAMトリップツアーを実施する。サイクルツーリズムの推進協議会の各地域6部会から2地域を実施地域として選定をしていく。

鹿児島の旅サイト内にあるサイクルツーリズム特集ページをより見やすく改修していくと共に、新たに ride with GPS マップを作成して掲載をしていく。

サイクリスト動向調査を本事業の中で今年度実施していく。鹿児島県内のみならず、日本全国・全世界のサイクリストに対して、オンライン等活用しながら調査していく。

また種子島・屋久島ルート以外のモデルルートの延長整理について取り組んでいく。それぞれのルートを試走した上で、それぞれの道路延長の距離等を計測し、今後の計画策定にあたっての参考資料としていく。

九州全体で連携していく取り組みとしては、るるぶフリースタンプラリーを実施していく。

引き続きの取り組み事項として受入環境整備について、サイクルステーションならびにサイクリストに優しい宿の登録支援を行っていく。

・九州山口サイクルツーリズム推進委員会・サイクリングアイランド九州の取り組みについて

鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR 観光課 東 主幹

るるぶフリースタンプラリーについては、九州・山口各県の設定したサイクルルートからデジタルスタンプを集めると、各県の特産品等が抽選で当選するイベントになっている。7月12日から来年3月15日にかけて開催する。

旅行者向けマガジンるるぶフリーに掲載している他、公式ウェブサイトにて詳細を公開している。

なおるるぶフリーについては、スタンプラリー施設や道の駅、ネクスコ西日本のサービスエリアなどで配布している。鹿児島県は27カ所のスタンプ取得スポットを掲載している。

イベント終了後は事務局の方から参加者の属性や来訪者とサイクリストのデータが提供されるので、今後政策立案に活かしていきたい。

・大島地域部会の取り組みについて

鹿児島県 大島支庁 総務企画課 商工観光係 納山 主幹

奄美群島のサイクルツーリズム推進事業として、令和5年度は3年目の実施であり、奄美群島各島協議会の実施と情報発信を行った。

宿泊施設や自治体の観光担当者、地域のサイクリスト等に各島で参加してもらい、ワークショップと講話を行った。ワークショップについては受入環境整備について、サイクリング観光客へのおすすめスポットの共有や課題の抽出を行った。モデルルート環境整備について注意喚起箇所の確認で、整備要望の優先度の協議を行った。

サイクルツーリズムに関する情報収集を各島で協議して、モデルルートのさらなる利活用を果たすためにサイクリングマップを日本語版・英語版で作成した。奄美群島内の観光関係団体、空港・港湾等へのマップ掲載、店舗等への配布設置を行っている。

また、サイクルモード大阪2024に奄美群島サイクルツーリズムとして参加した。今年の3月2日から3日の2日間であった。ブースでの観光案内の他、サイクルマップやノベルティ配布、各島パンフレット等も配布を行った。結果として奄美群島ブースに1,200名程の立ち寄りのお客様いらっしゃった。

合わせてアンケート調査を行った結果、430名からの回答いただき、奄美群島についての認知度は84%と高い水準であったものの、実際に旅行をしたことがあるというのは20%を切るというところ

であった。

・ 錦江湾奥会議の取り組みについて

始良市 商工観光課 緒方 主査

令和5年度の取組成果として、令和4年度に錦江湾奥会議の認定を受けて本格的に活動したのはこの令和5年度からとなる。鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会で錦江湾奥モデルルートの承認を受けた。サイクルツーリズム特集ページに、錦江湾奥モデルルート掲載してもらった。

セールス事業では、ルートPRおよび先進地視察ということで、錦江湾奥会議観光専門部会で、県外へ錦江湾奥エリアの魅力を伝えるというPR活動を行った。令和5年1月に福岡県へ、令和5年12月には東京へ訪問した。

招聘事業では県外事業者へ声掛けして錦江湾奥エリアの鹿児島市・始良市・霧島市・垂水市の4市でのモニターツアーを実施したものの、雨天の影響で車窓案内にとどまった。

令和6年度の事業計画として、情報発信を中心に実施していく計画を立てている。セールス事業の中でのPR活動から、改めて令和5年度に実走できなかったコース走行をしてもらおうモニターツアーを実施するように計画している。

・ 自転車走行空間整備状況について

鹿児島県 土木部 道路維持課 福永 技術専門員

令和5年2月の協議会において、鹿児島県サイクルモデルルートが承認され、現在24ルートが設定されているが、道路延長して約2,800kmの全ルートとなっている。

自転車走行空間整備については、各道路管理者により矢羽根の路面表示や案内標識を設置することとしている。鹿児島県では全体の約2,800kmのうち、県管理道路の民間利用が約1,300kmのあり、それを整備するようにしている。矢羽根の路面表示や自転車通行空間の整備については、鹿児島県土木部で行い、案内看板の整備については、鹿児島県PR観光課で整備を進めている。

・ 質疑応答

鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 東 主幹

錦江湾奥会議の今年度事業計画の中で、「情報発信の取り組みについて昨年度は雨天で走行できなかったとのことだが、招聘事業にてサイクルルートを紹介するターゲットは国内向けなのか、それともインバウンド向けなのか、詳細をご説明いただけきたい。

始良市 商工観光課 緒方 主査

国内旅行会社また国内サイクルツーリズム関係者、そういった方々にコース走行をしてもらい、様々な意見を聞かせてほしいと現時点では考えている。

CCCチャリン・コ・クリエイション株式会社 黒川 代表

奄美群島内の各島ならではの苦勞について紹介してほしい。

鹿児島県 大島支庁 総務企画課 商工観光係 納山主幹

奄美群島内の各島に島特有の特性が異なり、スポーツ志向の方もいれば、ポタリング的な要素を求める

方、トライアスロンとリンクする方等、様々な各島の環境であるため、島の情勢や雰囲気によって違うところがあるというところが印象としてある。

合同会社トビチカンパニー 小口 良平 氏

鹿児島県としてサイクルツーリズムの取り組みは4年が経過したものの、長くから実は鹿児島県のサイクルツーリズムだけではなく、自転車文化の推進は進んでいたんだと認識した。また、各地域における有識者を独自に立てており、進んでいるのがすごく印象的である。

今年度から福岡県の山田氏の力を借りて鹿児島県がさらに進んでいくことで、非常に大変心強い有識者が加わったと感じた。

鹿児島県サイクルモデルルート約2,800kmを設定をして、約1,300km弱の自転車での整備が進み始めていることを聞いて、改めて鹿児島県自体が広いということを再認識した。

長野県の諏訪湖は、長野県の中では一番大きい湖であり、外周は16kmある。その外周を8年掛けて、費用は十数億円を費やして、サイクリングロードを2024年3月に完成させた。

結果的に今は、8年前と比べると2倍強の観光客が訪れている。具体的な整備として、レンタサイクル整備や、カフェの開店、また周りにキャンプ場や宿泊施設や、湖を活用したアクティビティ等、サイクリングのハード整備が民間事業者の活力を上げていったということは非常に感じた。

やはり行政の力と民間の力のバランスが必要不可欠である。

・奄美の船旅キャンペーンについて

鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR 観光課 小谷 主査

鹿児島県旅客船協会で開催する人気アニメ弱虫ペダルと奄美の船旅キャンペーン期間は令和6年8月9日から11月10日までの3か月間になる。

1つ目は奄美航路の船内で楽しめるクイズイベントを実施する。正解者の中から数量限定で弱虫ペダルの限定デザインステッカーをプレゼントする。

2つ目は自転車やアニメ声優のサインと豪華景品が100名に当たるデジタルサンプリングを開催する。フェリー船内と奄美群島の観光拠点等に設置されたスタンプポイントを周遊してスタンプを集める。

3つ目は期間中アニメ声優のスペシャル船内アナウンスを実施する。

4つ目はフェリー船内や港等にフォトスポットを設置する。鹿児島新港フェリーターミナル3階のコラボキャンペーン特設ブースで、キャラクターと記念撮影ができる。

・福岡県のサイクルツーリズムの取り組みについて 講演①

公益社団法人福岡県観光連盟 事業推進特任部長 古賀 晴美 氏

●公益財団法人福岡県観光連盟と自己紹介

●自転車活用推進法と福岡県の取り組み

平成30年 福岡県サイクルツーリズム推進協議会の設立

●福岡県協議会で取り組んだこと

広域サイクリングルートの設定／走行環境調査／地域部会3部会／国内外への情報発信／ロゴ制作

●拠点型ルート支援

朝倉市／大川市／岡垣町／小郡市／築上町／福岡市／福智町／豊前市 5市3町

●サイクリスト受入環境整備

サイクルステーション整備／サイクリストに優しい宿整備／補助金制度／広域サイクリングルートの走行環境整備

●デジタルマップ導入

デジタルマップ導入メリット スポット選択に最適／即時修正可能／一元管理したDX化

●デジタルマップ運用とデジタルマップを活用したイベント支援

旅行商品や各市町村の観光スポットの掲載／プロモーション活用／スタンプラリー活用

●消費額拡大の取り組み

福岡サイクリングツアーコンシェルジュ機能／レンタサイクル／海外モニターライド／イベント出展／サイクルツーリズムインバウンド市場別戦略

・福岡県のサイクルツーリズムの取り組みについて 講演②

株式会社 Bike is Life 代表取締役 山田 大五郎 氏

●自己紹介

●国内サイクルツーリズムの取り組み

ナショナルサイクルルート／指定要件

●サイクルツーリズムとは

周遊型ツーリズム／拠点型ツーリズム

●令和6年度福岡県の取り組み

サイクルトレイン・サイクルパス・サイクルタクシー等を活用した継続的な販売の仕組み作り／県内全市町村との連携／総会ならびに部会の開催／専門的アドバイス／拠点型ルートマップを活用したイベント運営提案／拠点型ルート販売手法提案

・質疑応答

CCCチャリン・コ・クリエイション株式会社 黒川 代表

韓国や台湾、オーストラリアの観光客の来県が増加している話から、そういった観光客が継続的に来ていただくようになるための何か仕組みや取り組みはどういった内容か。

公益社団法人福岡県観光連盟 事業推進特任部長 古賀 晴美 氏

福岡県観光連盟には海外チームの中に台湾チームがあり、3年前から台湾向けにFAMツアーを始めた方と同時に、2ヶ月に1回の頻度で訪問して、現地で旅行商品を販売している。

また韓国は昨年度からセールスを始めたものの、韓国の特性として自転車だけで旅行を計画する観光客はいないため、旅行＋自転車の商品設計にして販売している。

自然に観光客が増えることはないの、地道にプロモーションをかける必要があると感じる。

株式会社 Bike is Life 代表取締役 山田 大五郎 氏

大事なことは、地域関係者のみなさんが実際に自転車に乗ってサイクルルートを実走体験をすること。自らがユーザー側になると課題等見えてくるはずで、感じた課題に対して作り込んでいくとより良いものに磨かれていく。

・閉会の辞

CCCチャリン・コ・クリエイション株式会社 黒川 代表

福岡県の取り組みの話を知ると、地道に積み上げてきて今があるという印象を受けた。鹿児島県として参考にできるところは取り入れつつ、鹿児島ならではの新たな取り組みを加えていくことが必要だと感じた。

サイクルツーリズムを中心とした誘客や消費額拡大のポテンシャルが鹿児島にはあると信じて、みんなで仕組みを作っていきたい。県内ルートは作ったものの現状ではお金が落ちる仕組みになっていない。インバウンドをターゲットとして売れる商品を造成することが今年度のテーマである。